

# 鳥栖市 水安全計画(概要版)

安全・安心でおいしい水道水を  
いつまでも



## 水安全計画ってなに？

- お客様においしい水道水を安心して飲んでいただけるよう、安全な水道水の供給をより確実にする仕組み（リスクマネジメント）です。
- 食品衛生管理手法である HACCP の考え方を参考としています。

HACCP：(Hazard Analysis and Critical Control Point)

原料入荷から製品出荷までのあらゆる工程において、危害を起こす要因（Hazard）を分析（Analysis）するとともに明確化したうえで、危害を最も効果的に管理できるポイント（必須管理点：Critical Control Point）を重点的かつ継続的に監視することで衛生管理を行う手法です。

## なぜ策定したの？

- 鳥栖市では、これまでも、独自の水質管理指標を設けたり、継続的に水源環境調査に取り組んだりして、水質管理の徹底に努めてきました。それにより、国が定めた水道水質基準よりも良質な水道水をお届けしています。
- しかし、水道水が蛇口に届くまでの過程にはさまざまな危害（リスク）が潜んでいます。それらの危害による事故を未然に防ぐためには、一度、あらゆる危害を洗い出したうえで対応方法を明確にし、全職員の共通認識にしておくことが重要であり、そのためには水安全計画の策定が有効であると考えました。

## どんな内容なの？

- 水安全計画は、主に次の3つの要素により成り立っています。

### ① 危害（リスク）の抽出と分析

さまざまな情報をもとに、水道水の安全性に影響する可能性のある危害（リスク）を抽出して、発生した場合の影響を分析しました。その結果、次のような危害のあることが再確認できました。

#### 《代表的な危害》

水源・・・ 排水の異常流入、ため池やダムでの藻類繁殖、防虫駆除  
浄水場・・・ 浄水薬品の不適切な注入、テロ攻撃  
蛇口まで・・・ 配管の劣化



#### 《影響を受ける主な水質》

・残留塩素 ・臭い ・農薬類 ・濁度 ・細菌、病原性生物 ・毒物 など

### ② 対応マニュアルの作成

抽出した危害（リスク）への対応方法（監視方法、管理基準、発生時の対処手順など）をマニュアル化しました。

### ③ 定期的なチェックと見直し

PDCA サイクルによる定期的なチェックを行い、必要に応じて計画の見直し・改訂を行うことによって、水道水の安全性をさらに向上していきます。



- 以上の内容は、厚生労働省の「水安全計画策定ガイドライン」に準拠して策定しました。

## どんな効果があるの？

お客様へお届けする水道水の安全性がさらに向上します！

- 危害（リスク）を洗い出して分析したことにより、対応の優先順位がより明確になりました。
- 危害発生の予兆の段階できめ細かな対応を行うので、水道水への影響を未然に防ぐことができます。
- 危害への対応方法を予め整理・文書化しているため、いざという時の原因究明や的確な対応が迅速に行えます。
- 一元的に文書化しているためチェックや見直しが容易となり、将来にわたって技術力を向上・継承しやすくなります。

お客様から、なお一層の信頼をいただけるよう、水安全計画の運用により、水道水の安全性向上に努めてまいります！



平成 24 年 4 月

お問い合わせ先

鳥栖市上下水道局

〒854-8511 鳥栖市宿町 1118 番地

TEL 0942-85-3539

FAX 0942-81-3105